

インクルーシブデザインアイデアソン 2020

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

当日、投影ダイジェスト 更新版



2020.12.12

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

インクルーシブデザイン アイデアソンワークショップ2020

インクルーシブデザインは多様な人々をデザインプロセスの上流から巻き込む手法です。
今回は障害を有りながら社会で活躍されている「センシティブユーザー」と共に日常生活をオンラインで共有しながら、
課題発見からソリューション提案まで2日間のワークで行います。テーマは「POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN」
～with コロナと言われても、、ユーザーの本音と未来のデザイン～とします。ユーザーと本音で新生活様式をデザインします。

【開催形式】

参加者は1人のユーザーに対し4名のメンバーで進めます
座学やユーザー観察はZOOMを使用し、チームディスカッションはブレイクルームで行います
チーム発表は23日当日に発表します。

チームは5チーム



× 5 チーム

※Zoomはテレビ会議と同様に映像と音声を使って、
社外にいる相手とのコミュニケーションを可能にし、
ビジネスシーンでの機能が搭載されたツールです

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

12日（土）のスケジュール

- 11:30 ZOOMオープン（接続確認）
- 11:50 全員ZOOMに集合
- 12:00 ワークショップ開始
- 12:00 インクルーシブデザイン事例紹介/ユーザー紹介
- 13:25 各チームに分かれチームビルディング（自己紹介／ミニゲーム）
- 14:10 全体でミニゲーム結果共有
- 14:20 各チームに分かれユーザーとディスカッション
- 16:30 各チーム中間発表
- 17:30 今後の進めかた
- 17:45 次回までの役割分担
- 18:00 終了

※ZOOMの接続テストを開始30分前から行なってください。

（順番に承認していくため、少しお待ちいただく場合があります。）

※Wi-fi環境によっては十分な通信ができない場合がありますので通信環境の良い場所で接続をお願いします。

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

インクルーシブデザインとは、特定の人の特別なデザインではなく
多様な人々を、デザインプロセスの上流から巻き込むデザインです



POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

ユーザーと一緒に「気づき」を発見するWS

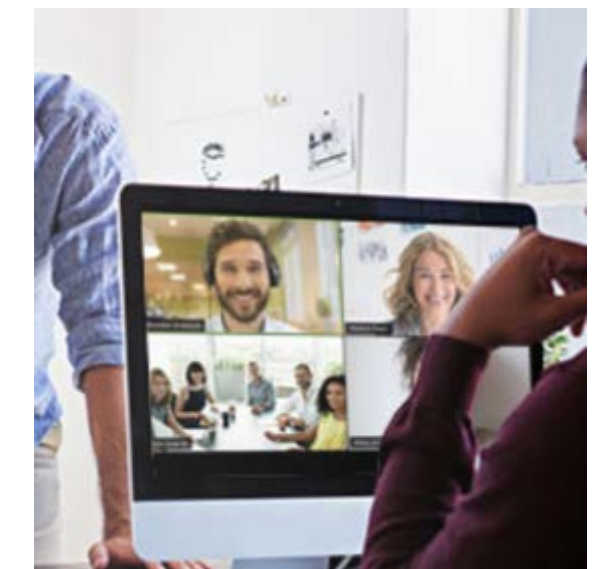
STEP1

障害が有りながら活躍しているセンシティブユーザーが街に出かけ、お買い物をしていただいたムービーを皆さんで観察していただきます。ムービ観察からユーザーさんも普段気づかない**課題「気づき」**を見つけます。



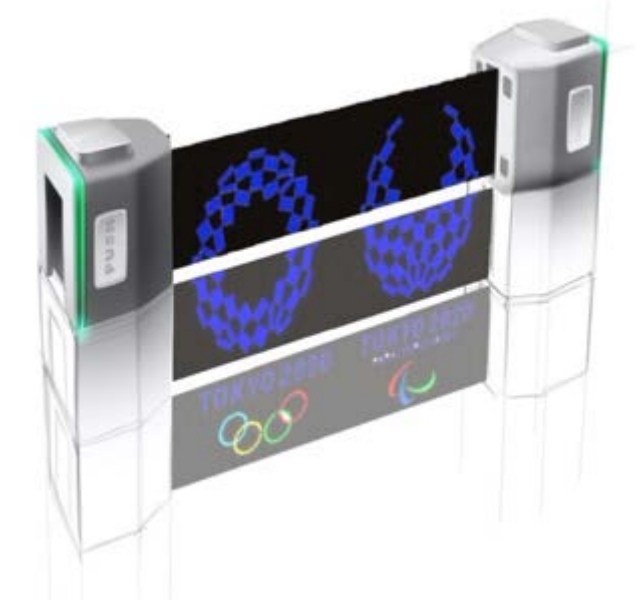
STEP2

「気づき」からユーザーにヒアリングを行い参加メンバーでディスカッションしながら**未来のニーズの発見**をしていきましょう。



STEP3

「気づき」からのデザイン提案は障害を持ったユーザーだけでなく、多くの人に有効なデザインに繋げる提案の**ジャンプアップが重要です**。



POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

今回の参加ユーザー紹介

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN



芹澤さん & 小林さん

四肢麻痺

車椅子ユーザー

小林さんは芹澤さんのヘルパー

趣味は旅行

ダイビングや夏の音楽フェスへ参加する

アクティブな人柄

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN



風間 幸子さん

視覚障害

昔は白杖で生活していたが、
今は盲導犬のトリノちゃんと生活

音楽鑑賞が趣味で、
人とお話することが好き

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN



辻勝利さん

視覚障害
白杖使用者
株式会社コンセント
アクセシビリティエンジニア

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN



小林聖子さん

四肢障害
車椅子ユーザー
会社員として勤務
最近は在宅がメイン

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN



塩越陽翔さん

聴覚障害

インクルーシブデザインネットワーク会員
障害者当事者アドバイザー活動をしているが
講演会やワークショップで活動中

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

今回のテーマは
POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

GO TO SHOPPING !

「With コロナと言われても、、ユーザーの本音と未来のデザイン」



POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

皆が実行できる行動ではありません、、
多様性の視線でもう一度考えましょう



POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

交通マップ

電車でのアクセス

神宮前二丁目商和会は、6つの駅が徒歩圏内にある便利なエリアに位置しています。

バスでのアクセス

ハチ公バス

運賃はすべて100円です。

神宮の杜ルート 渋谷駅ハチ公口から出発し、原宿駅・明治神宮前駅・表参道駅・千駄ヶ谷駅・代々木駅を結ぶ。約15分間隔で運行。

都営バス

運賃は210円(大人・現金払い)です。

池86 池袋駅東口と渋谷駅東口を結ぶ。10～20分間隔で運行。

黒77 目黒駅前と千駄ヶ谷駅前を結ぶ。10～30分間隔で運行。

早81 早大正門と渋谷駅東口を結ぶ。20～40分間隔で運行。



GO TO SHOPPING !
神宮前二丁目

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN



POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

これから皆様に行なって頂く事①

14:20 MOVIE GO TO SHOPPING



各チーム
Youtubeでござらん頂きます

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

これから皆様に行なって頂く事②

14:35 気付きのディスカッション

ユーザーの行動で気になった点

- ・良いと思った行動（ポジティブポイント）
- ・課題だと思った事（ネガティブポイント）
- ・それは特別な行為か？（ユーザーに限られた範囲）
- ・日常で行う行為か？（ユーザー以外にも適用）

「普段から不便に感じていたが当たり前の行動と思い
気にならなかったが、解決できれば行動の範囲が
広がり、多くの人の「新しい生活」が生まれる。



miroをお使いください

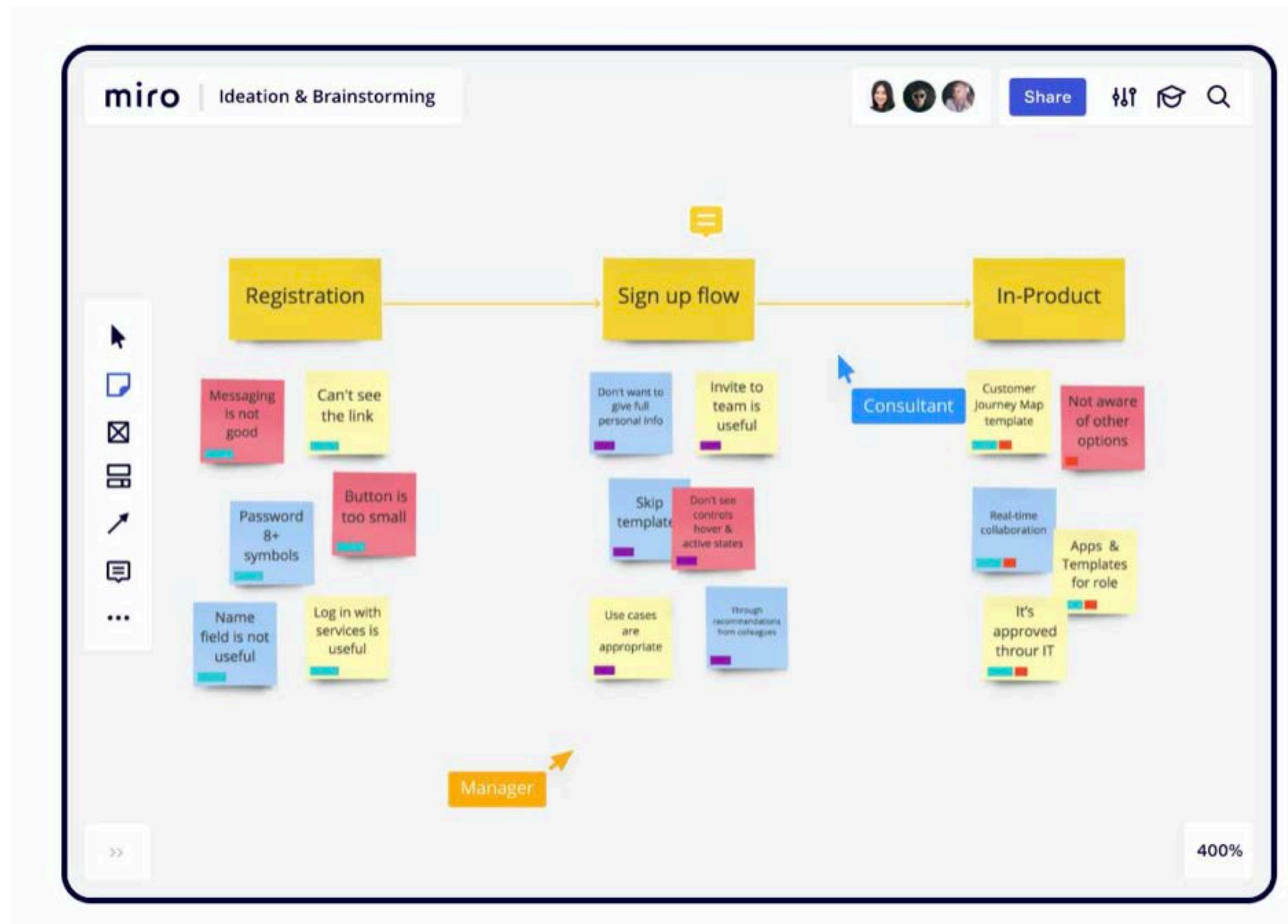
POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

ワークショップのルール

- ①メンバーで最初に全員でキャプチャー撮影する
プレゼン発表の際の表紙に使います
- ①**タイムキーパー**を決める（時間厳守）
- ②議事録、メモは**各自で取る**（担当を決めない）
miroのホワイトボードなど有効に使う
- ③ユーザーさん、メンバーの話を**よく聞く、否定をしない**
- ④画面**撮影、録音はしない**
- ⑤適時休憩を取る

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

16:30 気づきの発表



発表いただく内容

- 1、ユーザー紹介
- 2、気づき
- 3、

THEME

解決したいテーマ（行動）

WHO

誰の為に解決したい

WANT

どの様に解決したい

WAY

何故解決したい

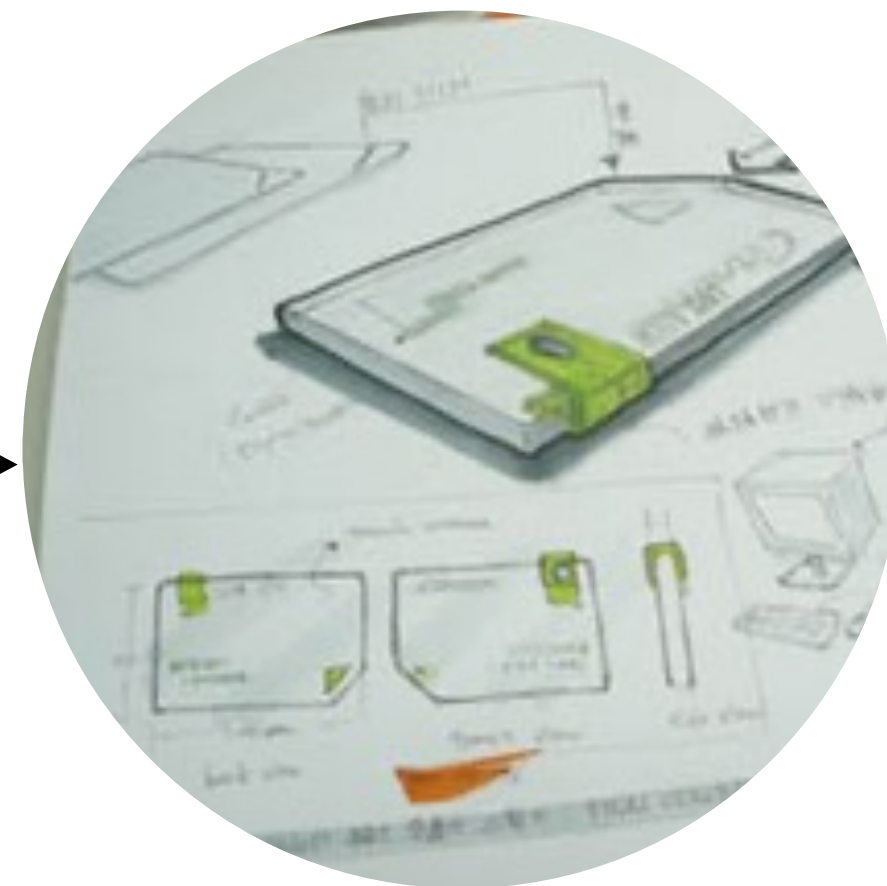
POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

次回のスケジュール 12月23日（水）13時～

各自で事前に作業をお願いします



SNSで検討の継続



アイデア作成
スケッチ作成



プレゼン資料
一人に負わせない



発表

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

次回のスケジュール

1 2 : 5 0 ZOOM集合

1 3 : 0 0 ワークショップ開始（前回の振り返り）

1 3 : 3 0 各チームで資料作成

1 6 : 0 0 発表（各チーム5分発表 質疑5分）

1 7 : 0 0 ユーザーさんからのコメント

1 7 : 3 0 まとめ

1 8 : 0 0 終了

※発表の仕方 パワーポイントまたは Keynote 10枚程度（次ページ）

※上司の見学の方：23日発表の聴講者申し込みはインクルーシブデザインネットワークホームページから

（<https://incl-design.net/ideathon2020attendees/>）、ZOOMにログインする氏名、会社名、メールアドレスをご記入の上
お申し込みください（締切：12月18日（金））

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

発表シートの例

①ユーザー紹介

一緒に取り組んだユーザー



芹沢さん & 小林さん

- ・ 芹沢さんは四肢麻痺のため車いす
- ・ 小林さんは芹沢さんのヘルパーであり恋人
- ・ 二人の趣味は旅行
- ・ ダイビングや夏の音楽フェスへ参加するアクティブな人柄

②着眼した課題



2人の移動の様子を振り返ると

- ・ 斜め後ろで片方のグリップを持って歩くことも
- ・ 押すために常に後ろにいるのではなく横並びで歩く様子も頻繁にある

③アイデアの方針

アイデアの方針

車いすの操作を楽にし、横に並んで会話や景色を楽しみながら移動する体験



④具体的な提案

提案







どんなお土産がいいかな
アメ横らしいのが良いなあ

海鮮が食べたい気分だなあ
入りやすいお店あるかなあ

皆が自然と行う歩きながらの会話・・・
そんなごく当たり前のことを実現し
コミュニケーションを深める



肘がしっかり置ける

握りやすい形、高さ

足を巻き込まない

⑤想定価格

部品価格と人件費を除いた価格			
スマートフォンアプリとの連携を想定			
モーター（電動自転車用）	¥4,990x2	https://www.monotaro.com/g/01032629/	
Bluetoothモジュール	¥1,000~3,000	http://akizukidenshi.com/catalog/c/cbt/	
制御部品（マイコン）	¥2,780	http://akizukidenshi.com/catalog/g/gM-09059/	
+ 電動自転車用バッテリー	¥10,000~	Amazonより	
小計		¥23,760~25,770	
+ 筐体作成費用/個	¥2,000		
		¥25,760~27,760	

⑥今後の検討

検討課題	
技術的な裏付け	ディスプレイの耐久性、巻き取り収納への適性。
文字の視認性	フォント、サイズ、流れる速度、色、シンボルマークの検証。
適切なサイズ・重量	長時間持つ事に配慮したサイズ・重量。

POST NORMAL INCLUSIVE DESIGN

参加者の皆様、12日（土）に会いましょう